

ベトナム政府が再エネ計画を大幅整理へ

2025 年 3 月 3 1 日 作成

カテゴリ ベトナム市場調査 環境・再生可能エネルギー

ベトナム政府が再エネ計画を大幅整理へ

ベトナム商工省は、再生可能エネルギー推進の一環として、商業運転を開始している 142 件のベトナム国内太陽光発電プロジェクトを新たに電力開発計画へ正式に追加したと発表した。対象となるプロジェクトには、ニントゥアン省の Trung Nam (204MW) や CMX Renewable Việt Nam (168MW)、ビントゥアン省の Hồng Phong (250MW)、タイニン省の Dầu Tiếng (350MW) など、ベトナム国内で大規模な発電容量を有する案件が含まれている。

これらのプロジェクトは、電力法や投資・入札・電力計画第 VIII 号をはじめとする法的根拠に基づき、ベトナム政府の再エネ促進方針に沿って補完された。ただし、今回の追加では、発電所の名称、出力、所在する省までしか明記されておらず、具体的な建設地については今後の詳細調査報告書に基づいて確定される見込みである。

なお、これらのプロジェクトの多くは、以前ベトナム商工省が計画に追加した際に法的根拠が不十分だったとベトナム政府監査機関に指摘され、154 件が監査対象となっていた。特に 123 件については、電源構成の不均衡や社会的資源の浪費を招いた要因とされていた。

この事態を受け、ベトナム政府は 2024 年 11 月の定例会議において、問題解決と投資環境の安定化を目的に、全 154 件に対する対応策を策定し、正当な手続きを経たプロジェクトについては計画に反映する方針を打ち出した。ファム・ミン・チン首相は、故意によらない違反については柔軟な解決策を講じるが、責任の所在を明確にし、汚職や不正行為は厳しく排除すると強調した。

ベトナム政府は今後も、ベトナム企業と地方政府が連携し、クリーンエネルギー分野での課題解決と信頼性向上に取り組む姿勢を明確にしている。これにより、ベトナム国内外の投資家からの信頼回復と持続可能な発展が期待されている。

以上